令和7年第3回6月定例会



城戸 議員 力 公明党西条市議団



## えひ 〔EILS〕 導入で教員の働き方改革を めICT学習支援システム

うに 学校での <u>寸</u> 高 Ε 実証 校 ゃ 1 で S るの 実験の結果 導入さ 助 は れ て 能 Α や U١ を ・を活用 る 備 現 中、 えて 場 の 市内 声 お はど た Ŋ /]\ 自 全て の 動 中 ょ 採

なって

で本格 どに活 き方 S 活 ばらつきが生じにくく、 とする教員が多く、 促 令 改革を推 進 用 和 質 の高 され 及 運 7 用 0) Е į び 環 0) 用 年度は市 Ι た、 学習意欲の 1 境 が 時 L 進 を整 開始され 授業の実践 教員の資質 間 S が約半 同じ基準 してい 導 え、 入に 内 余った 中 - 学校 10 きたい。 てい -分とな 向 児 ょ • 上を図り 採点ミスが減 り、 童 に 0) 、 る。 につなが 能時 採点によ 。 り、 校、 力の 生 間 テス を教 徒 今後も E り、 小学校 の授業 向 負 1 つ り結 材 担 7 上 0) 員 V に 研 少 が 採 る。 果に 大き 0) 理 Ι 1 寄 究 L 点 校 与 な た 働 解 L

## 医療的 「ケア児への支援の拡充を

いるのか。現状及び支援の するための 族や介 療 的 日 の ケ 中一 ア 拡 護 充 者 児 時 12 の **の** 支援に 対 日 時的 中 てど 活 つない休 動 の の ように て、 息 場 時 を 本市 間 確 帯市ので 保

現 保

て

業所 で受け入れるために必要な看護職 ることは認識 ており、受け入れできる事業所 本市に 時支援を受け入れできる事 現在、1名が利用してい している。 お V て、 医 療 的 ケ が ア が限られていい 児 業所は5事 0) 事業所 日 中

今後、 に、 いても、 直しを検討 啓発して 適切な支援を受けられる体 玉 日中一時支援に限 県などが 護 いくとともに、 職 てい 員 こともに、日内が行う支援制度 0 きたい )配置が 5 進 ず、 中度っな 制 むよう、 反などを事業 医 時 療 支援に 的 ケア 単 価

O

見

お所め

が



橋 淑 子 公明党西条市議団



議員



橋

章 哲

会派に属さない議員

議員

## 子どもたちの健康の 学校施設の改善を

中 学 校の 中 今の 症 体育館に 災害級. 危険をは お ٢ らん け ŧ る 61 冷暖 で え る 房機 る 夏 が、 0 市 さ  $\mathcal{O}$ 設 内 は 置小熱

更に、 6 ま た、 で L١ るの 冷暖房機器  $\vdash$ レの洋式化 及び は、 1 1 ۳ レ 0の 洋 程 式 度 化 整 備 12 が つ

進

状

況

はど

の

ようになって

L١

るの

か。

U١

て、

**今** 

どのように

整備す

á

計

画

な

の

か。

どを を す 重 で た諸課題につい 考に研究していきたい あると認識して さ現 い在、 れていな 学校体 い が、 育 おり、 て、 館 施 に 他自 設 冷 空調 0) 暖 治 環 房 体 境 機 0) 器 O器 事 0) 改 は 例 整 善 備 な は備

い、舎の も トイ 必 0) 要 現 各 な 階 レ 在 改 0) は 洋式化については、 修を検討 男 1 7女別に改修を行って4基以上の洋式便器へ してい きたい 全 0) 7 改 0) 修 を 校 行